



中小企業者の皆さんへ

融資制度を ご利用ください！

融資利率等は改定される場合がありますので、申し込み前に必ずご確認ください。
 企業支援センター ☎ 21-5522

事業者向け新型コロナウイルス対策の各種国・県支援メニューについては、市をご確認ください。



<http://www.city.chichibu.lg.jp/8012.html>

中小企業振興資金(秩父市ハイパワー資金)	
【取扱金融機関】商工中金熊谷支店および埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、足利銀行、東和銀行、埼玉信用組合の各秩父支店	
資金用途	運転資金・設備資金 (借入金の返済、税金の支払いは対象外となります。)
主な申込要件	①市内に店舗、工場もしくは事業所(法人の場合は本社)を有している、または新たに有しようとしていること ②市税を完納していること ③本制度による融資を過去に受けている場合は、その融資を完済していること
融資限度額	運転、設備合わせて2,000万円
利率	融資実行時の長期プライムレートと同率 ※利率の2分の1を限度として、融資額に対する年1%分の利子を市が予算の範囲内で補助します。 (令和2年4月末現在の長期プライムレート1.1%)
融資期間	運転5年以内・設備7年以内(いずれも据置6カ月以内)
担保	必要に応じて
保証人	必要に応じて
信用保証	原則必要
実際にご負担いただく利子 ①融資実行時の長期プライムレートが2.5%の場合… 2.5%-市補助分1%=1.5% ②融資実行時の長期プライムレートが1.2%の場合… 1.2%-市補助分0.6%(利率の1/2を限度)=0.6%	

小口融資制度・特別小口融資制度		
【取扱金融機関】埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、足利銀行、東和銀行、埼玉信用組合の各秩父支店		
名称	小口融資制度	特別小口融資制度
主な申込要件	①継続して1年以上市内に住所および事業所(法人の場合は本社)を有し、かつ、同一事業を営んでいること ②市税を完納していること ③許認可等が必要な業種の場合、有効な許認可等を受けていること	左記に加えて ①常時使用する従業員が20人(商業、サービス業は5人)以下であること ②本制度による保証の他に埼玉県信用保証協会の保証を付した借入金のないこと ③市県民税の所得割(法人は法人税割)があること
融資限度額	運転、設備合わせて1,000万円	
利率	年1.5% ※市で行う利子補給制度の対象となります。各事業所に対し、年間支払利子の20%(日本政策金融公庫の国民生活事業融資制度と合わせて上限10万円)を市が予算の範囲内で補助します。 20%の利子補給を受けた場合、実際に負担する利率は1.2%です。	
融資期間	運転5年以内(据置6カ月以内) 設備7年以内(据置12カ月以内)	
担保	必要に応じて	不要
保証人	個人：原則として不要 法人：必要に応じて	不要
信用保証	年0.32%~1.59% (埼玉県信用保証協会の審査により決定)	年0.7%~0.8% (埼玉県信用保証協会の審査により決定)
当初契約どおりの融資期間内に完済すると、信用保証料の全額を市が補助します。		



秩父新電力だより ~エネルギーの地産地消で地域低炭素化に貢献~ 関秩父新電力(株) ☎ 22-6700

①**秩父地域の低炭素化** 秩父新電力(株)は、これまで市と秩父広域市町村圏組合の公共施設に、秩父地域の再生可能エネルギー(再エネ)などから作られる、二酸化炭素(CO₂)排出量が少ない電力を供給し、CO₂排出量削減に貢献してきました。

そして、この「再エネの地産地消による地域の低炭素化」について、横瀬町・皆野町・小鹿野町からも賛同いただき、1月から順次、各町の公共施設に電力供給を開始しています。これにより秩父地域全体の低炭素化に、より貢献できるようになりました。

②**荒川区の低炭素化** 4月からは、姉妹都市である荒川区の幼稚園等(88施設)に電力供給を開始しました。荒川区では区内における再エネ発電施設の設置できる場所が限られているため、秩父新電力のCO₂排出量が少ない電力を使うことで、区内の低炭素化を推進できる点に賛同いただきました。また、これまで荒川区と市は、各種の交流事業を行ってきましたが、今回新しく電力の繋がりが生まれたことを契機とし、秩父新電力も連携して、市内で荒川区の子どもたちにエネルギー学習を行うなど、さらなる地域間交流の促進を目指します。

③**県内初！ゼロカーボン電力** 市では、4月から3つの公共施設で、CO₂排出量ゼロの「ゼロカーボン電力」を使います。対象施設は市役所本庁舎・歴史文化伝承館・秩父宮記念市民会館で、これらの施設では電力使用によるCO₂排出量がゼロになります。これは、ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みの第一弾で、庁舎で常時CO₂排出量ゼロの電力を使う取り組みは県内で初めての試みです。この「ゼロカーボン電力」は、秩父新電力が地域内の再エネ(秩父クリーンセンターのごみ発電や卒FIT太陽光)などを活用して供給します。

このように、秩父新電力では地域の再エネを活用して、地域の低炭素化を進めており、その一環として卒FIT太陽光電力の買い取りを行っています。ゼロカーボンシティの実現に向けて、ぜひご協力ください！

ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。